

友の会通信

2019
Vol.
40

～ 群馬県立自然史博物館友の会 ～



視察研修

生命の星・地球博物館

11月
18日

恒例となった自然史博物館友の会視察研修旅行が11月18日(日)に実施されました。参加者23名で早朝7時に自然史博物館を出発しました。神奈川県小田原にある生命の星・地球博物館は以前から行ってみたい博物館でもあり、圏央道がつながり念願が叶い当日を迎えました。日曜日&紅葉シーズンなので道路事情が心配でしたが無事到着。天気も良く外のベンチでお弁当を食べ、ワクワクしながら入館しました。

はじめに、隕石が目に入りとてもビックリしました。1836年ナミビア共和国(南アフリカ)で発見された重さおよそ70kgという大きな隕石、ギベオン隕石です。(ギベオン地域で発見)知識不足の私は、そこで隕石の分類を知りました。石からできた隕石(石質隕石)、石と鉄の混じった隕石(石鉄隕石)、鉄からできた隕石(鉄隕石)、その中でも何種類かに分かれることもあります。

あ! そうだ! 今年9月愛知県小牧市の民家に落ちた隕石を思いだし、翌日調べてみました。普通球粒隕石(コンドライト)の一種とあったので石からできた石質隕石とわかりました。視察研修の収穫です。見て、考えて、想像し、色々と勉強になりました。もう少し博物館の時間が欲しかったですが、充実した1日でした。ありがとうございました。
(伊丹清美)

体験
活動

「秋のキノコを観察しよう！」

キノコ日和とも言えそうな雨上がり翌日の9月23日(日)17名が参加して妙義青少年自然の家の裏山で、運営委員の北爪二郎さんを講師に、「秋のキノコを観察しよう！」が実施されました。心配されたヤマビルの被害も2人を除いて他にはなく、山に入るとすぐあちこちから「これは何というキノコですか?」「これもキノコですか?」などと声が上がりました。

ゲゲゲの鬼太郎に登場する目玉おやじのようなホコリ茸(目玉部分を指先で軽く叩くと埃のように胞子が飛び出す)ルーペで見るとやっとならぬとわかるようなヒメカバイロ茸、更に、小さな衿巻を平らな円形に巻いた上に、土色のミニトマトを置いたようなその名もエリマキツチグリ。圧巻は名前でも知らなかった冬虫夏草です。昆虫の体に住みつくキノコで、私達が見たのはカメムシの体から生えた4~5センチ程度の細いマツチ棒のようなものでした。

最後に先生から「キノコは木と共生するものが多いので、木の名前を知ること大切ですよ。」と教えていただきました。

食べられるかどうかという質問が多いキノコの観察会とはちがった美味しい驚きや不思議いっぱいキノコの観察ができた秋の1日だったと思います。来年の秋の山歩きが楽しみです。(大塚きぬ江)



参加者の
声

- 冬虫夏草が見られて本当によかったです。キノコをあまり意識して見る事がなかったのですが、たくさんあったので驚きました。家の近くでもあるか見てみたいと思いました。(倉金遥子さん)
- キノコがいっぱいあっておどろきました。ツチグリとツチガキをおぼえました。(野口愛菜さん)
- 冬虫夏草が自生する姿を初めて見ました。図鑑でしか見たことのないエリマキツチグリの実物も見ることができて感激しました。(神屋和雄さん)
- 75才のパアパです。色々なキノコを見てとても楽しかったです。(狩野利江さん)
- キノコの生えている場所や種類がとてもよく分かりました。冬虫夏草が見られてよかったです。(江原朔玖さん)

私が見つけた自然 友の会会員からのおたより

「ハラビロカマキリ」

庭の手入れ中、暑くて麦わら帽子を取ると、小さなだれかさんがついてきました。2018年7月12日に撮影しました。

この夏は猛暑続きでしたね。生態に影響があったと思います。今年はオオカマキリの孵化時期が本にあるよりも早かったです。生き物は地震や雷、酷暑に囲まれながらも、たくましく生きる。その姿に感動します。(上内織恵さん)



「白い鳩」

上野公園、たくさんの鳩がいました。背中がハートマークのように見えた白い鳩が私の側に…。(伊丹清美さん)



私が見つけた自然 募集中

自分の身の周りでも、かわいらしい自然を見つけたとき、珍しい自然と出会ったとき、その瞬間をカメラで記録し、写真とその時のエピソードを添えて自然史博物館の友の会へ封書またはメール(事務局アドレス: tsukida@gmnh.pref.gunma.jp)でお送り下さい。会員同士、すてきな自然の情報交換の場になればと考えています。なお、応募していただいた方にすてきな賞品をプレゼントします。

視察研修

11月
18日

神奈川県立生命の星・地球博物館

参加者の声

- 生命の星・地球博物館で見たことのなかった恐竜の化石が見られたのでうれしかったです。バスの中からだけけど富士山と紅葉も見えました。大涌谷のあたりで地面から湯気が出ていて不思議でした。(高橋一太さん)
- 神奈川県立生命の星・地球博物館では動物や恐竜の骨格標本や隕石などたくさんのが展示されていてとてもよかったです。かまぼこの里では、かまぼこの作り方を学べたり、家族にお土産を買ったりすることができました。毎年、楽しい旅行に参加させていただきありがとうございます。(倉金遥子さん)
- 今回は初めてでしたが孫との思い出が作れてよかったです。ありがとうございました。(須藤敏章さん)



- 生命の星地球博物館は、展示物の多さに驚いた。緑柱石、輝石の大型結晶は印象に残った。ここでしか見られない湯河原沸石を見られてよかった。大涌谷の硫化鉄の沈着した玉子を食べることができなかったのが心残りだが、次回の楽しみにしたい。(神屋和雄さん)
- 今回の研修はたいへんよかったです。これからも続けて参加したいと思います。(齊藤千春さん)

第2回友の会/

体験
活動

植物観察とアサギマダラのマーキング

8月
5日



8月5日、長野県池の平湿原と群馬県嬭恋村の栈敷林道で、14名が参加して、友の会主催の自然観察会が実施されました。綺麗なお花では、高山植物のマルバダケブキやハクサンフウロが、また、高山蝶のベニヒカゲやクジャクチョウが私たちを迎えてくれました。講師の先生から“ネバリノギランはなぜ、粘っているの？”と聞かれ、昆虫と植物の関係を知る発見のある観察会でした。また、登山道の途中では、30数年前の台風で倒れた天然カラマツが、残った根っこから養分や水分を吸い上げ、細かった枝が大きな幹へと生長しているその姿を見て、強い生命力を感じさせられました。

昼食後、栈敷林道に移動し、海を渡る神秘的な蝶アサギマダラとの出会いです。このマーキング調査も3年継続して行われています。まさに、自然を見る窓・自然を映し出す鏡であるこの蝶との出会いは、酷暑の下界から離れ、自然に癒されパワーをもらうだけでなく、0.5gにも満たないこの小さな蝶に、私たち人間が自然とどう向き合っていたらよいか、静かなメッセージをいただいているようでした。(佐藤真由美)



Event イベント紹介

【友の会総会】 日時:2019年5月5日(日)10:00~10:30 場所:学習室

【友の会講演会】 日時:2019年5月5日(日)10:45~11:45

講師:長谷川善和名誉館長 場所:学習室

第59回企画展 「谷川連峰～絶景といのちが織りなすエコパークの山々～」

会期:2019年3月23日(土)~5月19日(日)

観覧料:一般610円 高校・大学生300円

谷川連峰はユネスコみなかみエコパークの核心部にあります。谷川連峰の絶景を作り出した地質や雪と氷の営み、そこに生きるユニークで多様な動植物を、美しい写真やバーチャル体験を交えて紹介します。



第60回企画展 「同居いきもの図鑑」

会期:2019年7月13日(土)~9月1日(日)

観覧料:一般720円 高校・大学生410円

私たちが暮らす環境の中では、実はとても多くの生きものとともに暮らしています。ある生物は人体に寄生し、またある生物はひっそりと息を潜め家屋内にすみつき、またある生物は我々と信頼関係を構築し、ともに協力し合う生活をしています。これらをわかりやすく紹介します。



©ミュージアムパーク茨城県自然博物館

友の会入会・継続のお願い

博物館への入館料が1年間無料!

その他の
特典は
次の3つです。

- 1 ミュージアムショップの割引
- 2 友の会行事等への参加
- 3 博物館からの情報配布

年会費

- ①一般会員.....3,000円
- ②高・大学生.....2,000円
- ③小・中学生.....1,000円
- ④家族会員.....5,000円
- ⑤賛助会員(1口).....10,000円

◎現会員の方は、引き続き入会をお願いします。また、お知り合いの方に新規加入をおすすめいただければ幸いです。

10月28日 ぐんま県民の日イベント

「コバル(コハク)をみがいてみよう・ 光るアンモナイト化石のレプリカ作り」

ぐんま県民の日に博物館実験室を会場にして、友の会で「コバル(コハク)をみがいてみよう・光るアンモナイト化石のレプリカ作り」を行いました。運営スタッフとして 柚木会長、三友賢一さん、佐藤真由美さん、江原久美子さん、江原朝玖くん、三上金次さんに出席いただきました。

当日は84名あまりの方に体験していただき、25,200円の収益がありました。収益に関しては、友の会会計に入れ、研修会等で有効に活用させていただきました。



博物館 利用案内

開館時間:午前9時30分~午後5時(ただし、入館は午後4時30分まで)

休館日:毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日) その他都合により休館することがあります。

観覧料:一般510円 高校・大学生300円 中学生以下無料

※企画展開催中は、別料金になります。 ※身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方及びその介助者1名は無料です。

編集 後記

2018年の漢字は「災」でした。自然災害が多く、辛い映像を沢山目にしました。夏も暑く、虫・鳥・動物・私達人間みんな大変だったと思います。温暖化現象も重大です。

私達1人1人ができることを、小さいことでも習慣付けて日々を送りたいですね。

(伊丹清美)